

血液事業とは

「血液事業」とは、一般に、血液を提供していただける人を募集し、人の血液を採取し、血液製剤（人の血液又はこれから得られた物を有効成分とする医薬品。輸血用血液製剤と血漿分画製剤がある。）として、治療を必要とする患者さんのため、病院等に供給する一連の事業のことをいいます。

平成30年度には、全国で約474万人（延べ数）の方々に献血に御協力いただきました。血液は、現代の科学技術をもってしても、未だ人工的に製造することができません。また、献血いただいた血液は、患者さんの治療目的に合わせた分離・加工がなされ、輸血用血液製剤や血漿分画製剤となって治療に使われます。輸血用血液製剤の一つである血小小板製剤など、有効期間が非常に短いものがあるため、毎日新しい血液を確保しなくてはなりません。

血液製剤は人の血液から作られるため、ウイルス等の混入による感染のリスクを完全には排除できないという特徴を持っており、より安全性を向上させるため、様々な取組がなされています。献血血液に対して、血清学的検査（抗原・抗体検査）やB型肝炎ウイルス（HBV）、C型肝炎ウイルス（HCV）及びヒト免疫不全ウイルス（HIV）の核酸増幅検査（NAT）を実施しており、また

全ての製剤について白血球を除去する製造方法を導入しています。血液製剤による感染が疑われる事例が発生した場合には、遡及調査を行い、速やかに回収等の措置がとれるようにしています。

また、倫理性、国際的公平性等の観点から、原則として国内で行われる献血により得られた血液を原料として製造される国内自給を確保することとされています。我が国では、供血の対価として金銭を提供することを禁

いのちをつなぐ「アンパン」



りょうすけくんと妹のなっちゃん



神戸・三宮センタープラザ献血ルーム「血の様子（1月27日から「ミント神戸」）」

ありがとうの気持ちがあふれ

「輸血し付れぬ何気なる日々」が起つて不思議な「アンパン」が、いよいよ届けられることになりました。200年1月、りょうすけくんは、この間に1度、1月間の献血を続け、りょうすけくんは、いよいよ献血の準備が整いました。200年1月、りょうすけくんは、この間に1度、1月間の献血を続け、りょうすけくんは、いよいよ献血の準備が整いました。200年1月、りょうすけくんは、この間に1度、1月間の献血を続け、りょうすけくんは、いよいよ献血の準備が整いました。

平成19年2月1日発行
赤十字新聞から転載

テレビ新広島のHPIにも、りょうすけくんのことが取り上げられています。

<http://www.tss-tv.co.jp/news/anpan/>

